

平成28年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	生徒の学習意欲を向上させる教育課程を編成し、組織的に授業改善に取り組むことで主体的な学習態度を育む。 地域の教育力を活用し、豊かな人間性や社会性を培う。	授業力向上推進重点校として、公開研究授業を実施する。 地域教育機関と連携し生徒の学力を育成する。	・授業力向上をテーマに公開研究授業を実施し、生徒アンケート、外部関係者の指導助言をもとに改善を図る。 ・外部専門機関と連携した英語指導力向上事業により、コミュニケーション能力や思考力の育成を図る。 ・家庭総合の授業を通じて、地域の食文化理解とコミュニケーション能力の育成を図る。 ・学力スタンダードを授業力向上の取組みに生かす。	・生徒による授業評価等から生徒の満足度、達成度が高まったか。 ・地区研究協議会を中心に、学校間協議を行い、研究推進を図ることができたか。 ・学力スタンダードにより生徒自身の自己評価が高まったか。					
2 (幼児・児童・) 生徒指導・支援	社会性・公共心のある生徒の育成をめざし、生徒一人ひとりに応じた相談体制を充実させ、安心して学べる学校づくりを推進する。	規範意識の醸成を図り、落ち着いた学習環境を整備する。 一人ひとりに応じた相談体制を充実させる。	・頭髪服装指導(スカート丈指導等)を徹底し規律ある学習環境を維持する。 ・SCやSSWを有効活用し、ケース会議等の相談体制を構築し、きめ細かな支援体制を整備する。	・再登校指導を前年度比減とできたか。 ・学校全体の組織的な情報共有システムを確立できたか。 ・システムを活用しケース会議等を実施できたか。					
3 進路指導・支援	入学から卒業までのキャリア教育を体系的に策定し、生徒が社会と主体的に係わり、自らの将来を自主的・主体的に考える姿勢を育む。	上級学校への進学を中心に、進路実現に向けた手立てを行う。 学校行事、部活動、ボランティア活動等における生徒の主体的な活動を推進する。	・校外模試等を実施し、外部教育機関と連携して最新の情報を活用した進路指導を行う。 ・放課後講習を実施し、生徒の学習意欲と実力養成を図る。 ・インターンシップや上級学校訪問等により、主体的に進路選択する姿勢を育む。 ・生徒主体の学校行事となるよる支援を行う。 ・部活動の活性化、ボランティア活動等への主体的な参加を推進する。	・外部機関と連携した進路指導、情報提供が行えたか。 ・校外模試や講習の参加者は増えたか。 ・70%以上の生徒がインターンシップ、上級学校訪問等に参加したか。 ・生徒による企画運営の行事が行えたか。 ・部活動、ボランティア活動等に積極的に参加する生徒が増えたか。					
4 地域等との協働	地域との協働を推進し、地域に信頼される学校づくりを進める。	地域の教育力を活用した公開講座、ボランティア活動等を実施する。 伊勢原市内の小中学校と連携し、開かれた学校づくりを進める。	・地域の方々と大山豆腐づくり講座を行う。 ・伊勢原市内の小中学校との連携を図る。	・地域の方々と協働連携した事業展開ができたか。 ・伊勢原市内の小中学校との連携ができたか。					

5	学校管理 学校運営	いのちを守る 防災教育を推進 する。 様々な解決す べき課題に対 し、組織的に取 り組み、事故防 止を図る。	防災訓練等、防 災意識を向上さ せる。 防災用品の充実 等、災害時の体 制整備を進め る。 事故・不祥事防 止のため教職員 の一層の意識の 啓発を図る。	・地域と連携した防災訓 練を実施し、地域の拠点 としての役割を果たす。 ・避難訓練に備蓄食料の 喫食訓練を計画し、体現 的なものとする。 ・事故防止会議や「事故 防止の一言」を通して意 識の啓発を図る。 ・個人情報の管理を徹底 する。	・地域と連携した防災 訓練に工夫が見られた か。 ・生徒の意識が高まる 避難訓練ができたか。 ・ヒアリハットを含め 事故・不祥事ゼロが達 成できたか。					
---	--------------	---	--	---	--	--	--	--	--	--